

4桁の数スロット追加資料

① 4桁バージョンを追加しました。(8月22日)

4桁バージョンは、電車ではなく、タイル図付きの位取り表にしました。また、千の位から一つずつ数字を止めることができるボタンを追加しました。

表示用数字は、H 1 I 1・・・P 1 Q 1に置いています。

(1) (2) (9) (0)

② 4桁バージョンに漢数字スロットを追加しました。(8月29日)

大きな数の日本語での読み方は、「千百十一」の4桁の数の繰り返しになっています。ですから、4桁の数の「読み・書き」に慣れることが大事になってきます。

「読み」：6382→「ろくせんさんびやくはちじゅうに」と読む。

「書き」：六千三百九十二→「6392」と書く。

「読み」のシートに「書き」も入れることにしました。

(ア)

千 <small>ゆくらい</small>	百 <small>ゆくらい</small>	十 <small>ゆくらい</small>	一 <small>ゆくらい</small>
6	3	8	2

(イ)

六千三百八十二

算数工房

6382

スタート

千 百 + -

全stop

(ア) だけを提示して「読み」、(イ) だけを提示して「書き」の練習ができるようになっています。(ボタンは共通です)

※イラスト



(Loose Drawing)



(SOZAI GOOD) よりダウンロードして加工して使用して

います。

※開発メモ

以前の「書き」は、「循環参照でランダムに4桁の数を作る→漢数字に変換の関数 (NUMBERSTRING) を使う」でできていました。ところが、パソコンの性能が良くなったからか Excel バージョンのためか、数の変化がスロットのようにならずに結果だけが表示されるようになりました。

今回はどうするか？ なかなか良い方法が見つからなかったのですが、思いついてみればなんのことはない仕組みで完成しました。

その仕組みとは

前ページの数の例でいうと、6、3、8、2はそれぞれ独立して表示された数字です。

(a b c d)

これを、セル (ここではS4) に「 $a \times 1000 + b \times 100 + c \times 10 + d$ 」の計算式を入れておくと、そのセルに6382という4桁の数が作られます。あとは、前記の関数で漢数字に変換すればできあがりです。めでたく完成しました。